## からしだね

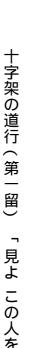


## キリストの受難 カトリック池田教会

共同宣教司牧: 畠 基幸神父·松本一宏神父 協力司祭: デニス·マックゴワン神父 住所 : 〒563-0041 池田市満寿美町9 - 26

TEL :072-751-2400 FAX :072-753-4624

URL(ホームページ):http://www.wombat.zaq.ne.jp/catholic/





巻頭言	2	評議会議事録	4
聖母被昇天大祝日献金	5	中高生会キャンプ会計報告	5
10月のガラスケースの言葉	5	7 - 8月の委員会活動報告	6
自動対外式除細動器AED	7	北摂地区宣教評議会議事録	8
サンチャゴ巡礼日記	1 0	信徒異動1	1
宗像黙想の家への旅	1 2	ドレミの会バーベキュー 1	3
日曜学校夏季キャンプ	1 4	中高生会ワークキャンプ 1	5
メンズクラブ旅行記	1 6	からしだね俳壇1	9
お久しぶりです	2 0	総務委員会より2	. 0
社会活動委員会より	2 0		
表紙写真:御受難	修道会	福岡黙想の家(宗像修道院) 池田宗弘	作

巻頭言

## 朝の祈りを共に

畠 基幸 神父

皆さまもお気づきになったと思いますが、毎日曜日、「教会の祈り」の「朝の祈り」をミサの前に行うようになりました。8時45分から10分間ほどですが、「教会の祈り」の主日の詩篇唱和の個所をご一緒に会衆全体で歌うのです。その後、ミサ開始まで数分間沈黙のうちに心の準備をします。ほんのわずかなことなのですが、賛美の詩編を歌うことによって、聖堂全体が祈りに包まれ、会衆全体が主を迎える準備が整うのです。皆さまの感想はいかがでしょうか?

これは、聖堂をおしゃべりの空間から祈りの空間へと変容させるための対策ではありません。わたしの突然の思いつきでもありません。私の「教会の祈り」との出会いは、1975年の秋からみことばの家に共住者として下宿するようになった時です。その時、國井神父さんが手ほどきをしてくださり、一緒に唱えていました。まだ歌うのは難しかったのです。詩篇を共同で唱えることの中に、すごい詩篇の祈りの力を感じ、霊感に打たれたものです。「心を声に合わせよ」。キリストの祈りを自分のものとするためには、自分の心をキリストの声に合わせなければならない。その声の中にキリストの霊が現存して、わたしたちの祈りがキリストの祈りとして御父へとささげられる。祈りはすべて、キリストの名によって、すなわち、「わたしたちの主イエス・キリストによって」ささげられるのですが、その「声」にキリストが現存するという恵みにわたしは喜び感動したのです。その時からでしょう。「教会の祈り」がわたしの祈りとなり、肌身離さず持ち歩くようになったのは…。こうして私は修道会に入ることにためらいを感じませんでした。

叙階を受けてから、最初に赴任した奈良教会で「教会の祈り」のわたしの感動の普及に努めました。ごく少数でしたが一緒に平日に「朝の祈り」を唱えました。次に赴任した小倉教会では、何もできませんでした。1985年に3ヶ月ほど日生中央教会の主任代理を務めた時には、「教会の祈り」の本を5冊ほど購入し、「教会の祈り」を共に祈るように呼びかけました。その時は、まだ主日のミサではこの祈りを薦めることはしませんでした。一冊の値段が高い(5,000円+税、1973年版は頒布価格4,000円)ことが大きな障害でした。そして、年月がたち、再び日生中央教会を担当することになると、もはやこの「教会の祈り」は、まったく誰も唱えなくなり本だけが残っていました。そして、この度は、池田と日生中央で主日のミサの前にするという方法をとりました。まだまだ馴染まないかもしれませんが、これも私の感動の恵みを伝え、第二バチカン公会議の典礼刷新の大きな実りの一つを味わう機会となればと思います。

さて、私がこの「教会の祈り」にこだわるのは、私自身の個人的な体験からでもありますが、教会の集まりでも、評議会や種々の会議でも、共通の式次第と祈りがないので、どうしても司祭が短く祈り、信徒がそれにアーメンと答えるだけになってしまう、あるいはロザリオの祈りか主の祈りで一致するということで落ち着く。これは何とかならないのかと思い始めたからです。感謝の祭儀以外の共同体の祈りが貧弱化しているという印象を私は持っているのです。北摂地区の司祭・修道者の集いでも、祈りのリーダー養成についての話題がでました。信徒の奉仕職を推進するにはどうしても祈りによって日々霊性を高めなければならないとの認識で一致しました。さすれば、共同体の祈りをどこから手をつければいいのか?

中で発すりる祭の中の祭の中の祭の中の祭の中の祭り

すでにそれは、第二バチカン公会議後の典礼の刷新の中で、「聖務日課」の改訂が行われ、そのローマ規範版のなかの総則に共同体で祈る規範になることが希望として述べられているのです。すなわち、総則27には、信徒の団体が一緒に集まる場合や家族の聖所である家庭でも、「教会の祈り」のある部分を唱えて教会に堅く一致することが望ましいとあります。

このような総則の背景には、公会議以前は、信徒の祈りと司祭・修道者の祈りが全く違い、位階性がそのまま祈りの種類の階層のように、信徒は公教会祈祷文を唱え、ロザリオの祈りや十字架の道行など信心業を、司祭・修道者はラテン語の聖務日課を唱え、聖書の黙想と観想の祈りに従事していたことが思い出されます。当時は、聖と俗の区別を明確にして、聖職者は聖なることに従事し、そして、信徒は俗事に専念して聖職者の祈りに頼るという住み分けがありました。

しかし、公会議後、洗礼を受けた信者はすべてキリストの絶えず目覚めて祈るようにという命令に従わなければならないということが意識され、それをキリストの祭司職を行う教会共同体の典礼として祈ることが勧められるようになったのです。新しい聖務日課(教会の祈り)の目的は、「その日一日と人間活動の全体を聖化することにある」(総則11項)であり、この祈りは、「花婿に語りかける花嫁の声であり、また自らのからだ(教会)と一致して父にささげるキリストの祈り」であり、また「天上で永遠に歌われている賛美の歌に」加わる祈りなのです。すべてを聖化する義務を信徒も聖職者も共に担っているのです。

なかなかこの理想を実現することは難しく、なんとかその味わいを皆さまにも味わっていただきたいと願うばかりですが、次のような規範版の総則を実現できればすばらしいと思います。

21項「…いわば、世界中に立てられた見える教会を実現する小教区は、できるならば主要な時課(教会の祈り)を教会で共同で行う。」つまり「朝の祈り」と「晩の祈り」のことです。

また、22項で「したがって、信者は『教会の祈り』のために呼ばれ、一つに集まって、心と声を合わせるとき、キリストの神秘を祝う教会をあらわす」。

そのために、23項では、「叙階を受けた者、あるいは特別に教会法上の務めを授けられた者の役目は共同体の祈りを組織し、指導することである。彼らは『自分の世話にゆだねられているすべての人が、心をあわせて祈るように働かねばならない』。したがって特に主日、祝日には信者が『教会の祈り』の主な部分を共同で行うよう、彼らを招いて必要な教育をほどこすように努める。彼らが『教会の祈り』への参加から真実な祈りを学びとるように教え、そのためには信者に適切な教育によって詩篇をキリスト教的に理解するよう徐々に『教会の祈り』に親しみ味わうように導く。」と、私ども司祭の義務がはっきりと書かれてあり、信徒とともに、主日に「教会の祈り」を歌うことによって、ミサをよく準備することができると以下の総則に明記されています。

総則12項「主の晩餐の神秘は、キリスト教共同体の全生活の中心であり頂点であるが、『教会の祈り』は、感謝の祭儀の含まれている賛美と感謝、救いの諸神秘の記念、懇願、天の栄光の先触れなどを一日のいろいろな時間に繰り広げていく。…したがって、『教会の祈り』は、感謝の祭儀の効果を豊かに受けるために必要な心構え、例えば信仰、希望、愛、熱心、犠牲の精神などを人々のうちに呼び起こし養うことによって、感謝の祭儀のすぐれた準備となる。」

皆さま、このような教会共同体に一歩でも近づきたいと思いませんか?

中で発すりる祭でする祭のりで発すりる祭でする祭り

## 2009年9月 定例評議会

日時 : 2009年9月6日(日) 10:45~12:00

場所 :カール記念館 2階 会議室

出席者: 【司牧チーム】畠神父 【議長】林 【副議長】高橋 【書記】福本

【総務】金岡・神崎 【財務】赤井・清水 【典礼】小川・藤阪

【福音宣教】中路・坂口【研修】谷掛・青池 【社会活動】中岡(え)・柴田

【広報】杉山・坂野 【地区】犬飼・馬場

1. 開会の祈り: 畠神父

#### 2.審議

報告・連絡事項

#### 総務委員会

第2回バザー委員会を9月5日に開催した。

- ・10月18日日曜日に基本的に去年と同じスタイルで開く。(ただし模擬店の麦茶をなくす)レイアウトも昨年と変わらない。
- ・テーマは、"愛の輪を広げよう WITH YOU"に決定。
- ・ポスター・ちらしは青年会で作成。10月4日までに掲示を完了させる。
- ・個人の車の乗り入れは禁止。池田教会としては駐車場20台程度を許可予定。
- ・次回のバザー委員会(最終回)は10月3日開催とする。
- ・北摂地区でのインフルエンザ流行状況によっては、バザー中止の可能性もある。 教会と幼稚園の双方は同じ日に開催するが別組織のため、教会として判断・決定 する。準備(仕入れ)の関係上、10月10日土曜日に主任司祭・議長・バザー委員会で 最終決定し、中止の場合は、翌11日日曜日のミサ後の「お知らせ」と地区連絡網で通 知する
- ・バザー前日 17日土曜日の設営開始時間については、次回委員会で決める。
- ・保健所への届け出について
  バザー実施を書類で申請しておく。

#### 聖堂ワックスがけについて

床の「黒ずみ」をとるために、「剥離」を数年に1回実施する必要があるのではないか。 来年度の予算作成までに見積もりを取り、業者へ依頼するか否かを再度検討する。

AEDについて、信徒へ使い方の説明が必要ではないか

中路さん・山内さんに使用法のデモを依頼。「からしだね」に使用説明書を掲載する。 設置置場所を使いやすい場所に移動させる カール記念館玄関、靴箱上部に設置予定 典礼委員会

#### 北摂地区大会について

- ・9月23日実施。堅信式・池田は1名増えて23名が受堅予定。
- ・実行委員〔藤阪さん・仲(和)さん〕 聖堂案内〔四倉さん・北村さん〕
- ・第一朗読〔受堅者のマイヤー(智)君〕奉納献金〔受付係(閑歳さん・仲(和)さん・ 平石さん)から1名〕 駐車場〔高橋(恒)さん〕 写真撮影〔小川さん〕
- ・侍者〔各教会から2名選出(村田聖志君、マイヤー明子テレサさん担当)〕
- ・設営は前日9月22日14:00に実行委員と宣教評議会議員(計4名)が参加。
- ・インフルエンザにより被昇天学院が休校になった場合は、近隣教会(箕面教会)で開催を検討中(再延期はしない)。本人・家族が発症(発熱)の場合は、出席を遠慮願う。
- ・駐車券は5台分あるので、多くの方々で乗りあうようにお願したい(大会中の車の出し入れは不可)。受堅者・代父母の集合時間等は連絡する。



#### 研修委員会

希望の集い (池田・日生合同)

- ・9月16日水曜日 兵庫県立一庫公園にて 今年は日生教会が主催。
- ・池田は高橋(宏)さんが世話役となり15名(内スタッフ6名)の参加が予定されている。
- ・池田からは、高橋(恒)さん・松下さんが車を出してくださるが、健脚な方は山下駅に集合し、日生の方が送迎。

#### その他

8月15日の聖母被昇天祝日について懇談。

ミサ後のパーティーは本当に必要か 猪名川花火大会や土曜日だったことと重なり、参加者は30名程度で非常に少なかった。今後の実施について検討する。 来年度教会行事の見直しの際に再度提案し、パーティーの位置づけを考える。 畠神父より

10月、レオナルド・コサカ神父様の金祝記念ミサとお祝いパーティーがある。今年は司祭年でもあり、司祭の祈りを検討したい。

教皇からの要請もあり、信者に御聖体への礼拝意識を育む必要がある. 説教のなかでアピールする。聖体賛美式を行うことも検討したい。 ミサ中のプロジェクター使用・ミサ前「詩篇の祈り」について懇談。

3.終わりの祈り 畠神父

### 聖母被昇天大祝日献金

ご協力有難うございました。下記のとおりご報告いたします。

財務委員会

			76.3.3	<u> </u>
	2009年		2008年	
金種	件数	金額	件数	金額
30,000	2	60,000	1	30,000
20,000	0	0	1	20,000
12,000	0	0	1	12,000
10,000	15	150,000	15	150,000
8,000	1	8,000	1	8,000
5,000	23	115,000	33	165,000
4,000		0		0
3,000	12	36,000	11	33,000
2,000	4	8,000	4	8,000
1,000	5	5,000	6	6,000
500		0		0
		0		0
合計	62	382,000	73	432,000
前年対比	-11	-50,000		

#### 中高生キャンプ 会計報告

会計担当:平石 麻子

収入の部:

池田教会より仮払い 100,000 日生中央教会より 10,000 参加費(6千円×5+1万円×3) 60,000 170,000

支出の部:

宿泊費(レーベンスシューレ) 28,000 有料道路代金 7,650 ガソリン代 9,953 食材費 57,194 その他(石鹸・ゴミ袋など) 1,227

決算

170,000 - 104,024 = 65,976

残金65.976円は財務に返金いたします。

## 10月のガラスケースの言葉

天地は過ぎ去る。しかし、私のことばは過ぎ去らない マタイ 24:35

## 7-8月の委員会活動報告

#### 総務委員会

7月 4日 第1回 日生・池田合同バザー委員会開催

8月15日 聖母被昇天納涼の集い

〔リーダー小杉氏 その他地区の皆様の協力〕

8月30日 教会大掃除(畠神父をはじめ約70名の参加協力を得て実行)

#### 財務委員会

8月 2日 カンボジア教会 復興献金 23,776円

#### 福音宣教委員会

毎週日曜日 ミサ後「おしゃべりコーナー」を設置

8月 8日 ドレミの会キャンプ

#### 研修委員会

(日曜学校) 7月28日 猪名川キャンプ場にて夏季キャンプを実施

29日 幼稚園児から4年生まで29日午後3時頃帰宅

30日 5・6年生だけ29日の夕方より日生教会にてキャンプ

(中高生会) 7月11日・12日 中高生会 (参加者2名)

8月11日~13日 奈良レーベンスシューレにて夏季キャンプを実施

(参加者11名 高校生4名 中学生7名)

#### 社会活動委員会

7月11日 北摂社会活動委員会会議 午後2時から 池田教会にて

- ・6月の勉強会「裁判員制度について」反省会実施
- ・今年度の活動テーマを協議 釜ヶ崎の現在を知り、支援の方法を考えることに決定。 9月12日 釜ヶ崎のシスター・マリアの案内で釜ヶ崎訪問

19日 釜ヶ崎募金 47,936円

内訳 お米券4万円 お菓子4,380円 日用品1,155円 肌着・靴下6,750円

食物の奉献

ミーティング

釜ヶ崎のお米券の渡し方。段ボール詰め等、発送する方法について あかつき老人ホームへ渡すボロ切れをつくる。

22日 釜ヶ崎訪問(ふるさとの家、子どもの里、旅路の里)

お米券、食品、肌着等持参藤阪さん・赤井さん

8月 9日 玉造カテドラルにて平和祈願ミサ 午後1時より

準備のため当日手伝いにゆく(中岡・柴田)

16日 食物の奉献 釜ヶ崎募金 26,135円 9月まで財務にとどめる。

#### 広報委員会

7月18日・19日 からしだね編集 23日 からしだね折込(小正さん・仲恒子さん)

25日 からしだね発行

#### 地区委員会

7月11日 吉田淳・西内まどか様結婚式お手伝い(各地区1名)

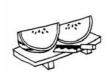
8月15日 納涼のつどい(その他地区担当)

8月29日 島上慎三郎・楞川恵子様結婚式お手伝い(各地区1名)

8月30日 大掃除後の軽食準備(その他地区担当)







# WESUNESUNES OF THE SURE OF THE

池田教会にも 自動対外式除細動器 "AED"が設置されました。

突然倒れて死に至る、その原因の多くは心室細動という心臓の病気です。この唯一の 治療は「除細動器」という装置で電気ショックをかけること。処置が遅れるほど、時間 とともに救命率が下がってしまいます。一刻もはやい処置が不可欠です。

ここにAEDの使い方を掲載します。AED管理者の中路さん・山内さんによる、AED使用説明会も開催される予定です。



救急隊が到着するまで救命処置を続けましょう

2009年度 第65回北摂地区宣教評議会 議事録						
日時	2009年7月12日(日)14時~16時	出席者	27名(出席25名・委任状2 通)			
場所	カトリック千里NT教会	成立	27/33(成立要件2/3以上)			
配布先	対象17(北摂8教会、9修道院)					
配布方法	書記 評議会議長(久保) 書記(人	人見)	送付7月27日			

始めの祈り 松本神父

. 新任地区長の紹介及び挨拶

松本一宏神父(池田・日生教会共同司牧)のご挨拶があった。

#### . 報告事項

#### (1)教区「国際協力の日」について (久保議長 報告)

5月17日、雨天の中、カテドラルにて開催された。詳細は配布資料を参照のこと。

#### (2)地区代表者会議について (久保議長 報告)

6月28日、第17回地区代表者会議が開催され、北摂地区からは松本地区長、久保議長、 林副議長が出席。詳細は配布資料を参照のこと。

教区事務局から次の2点を年内に検討するよう要請があった。

教区宣教司牧評議会の構成メンバーについて $(P) \sim (I)$ の4案のうちどれがよいか。 1案 地区長 + 地区選出信徒代表 2名

信徒代表2名内訳: 地区評議会議長+副議長 … (ア)

地区評議会議長+前議長 … (イ)

地区評議会議長+その他1 …(ウ)

2案 地区長+地区選出信徒代表(評議会議長)1+司教選任4~8 ...(工)

共同宣教司牧チームのシスターの給与について

納付金Bを増額してシスターの給与を賄うことについて検討すること。

該当シスターは現在7名おられる。2009年度支払額(予算)は10,454,590円である。

11月の評議会で討議することとし、各小教区にも周知しておくことが求められた。

(質問)教区宣教司牧評議会に代表を出す以上、この会議でどのような決定をするのか、また対外的な責任はどうなるのか明確にした方がよいのでは。 決定機関ではなく、意見を聞く場であると認識している。大司教は司祭評議会の補完的な役割を担って頂くと言われるが、現時点ではその役割に不明朗さが残る。

#### (3) 北摂地区大会について (花木実行委員長 報告)

延期開催ということで、進行を一部変更する程度にとどめ、当初予定通りのプログラム、 式次第で行なう。

- ・日時: 2009 年 9 月 23 日(水・祝) 10 時より
- ·場所:聖母被昇天学院 聖堂
- ・今後の予定: 9月5日10:30 実行委員会(池田教会)

9月22日事前準備、14:00実行委員と評議員集合(聖母被昇天学院)

#### . 討議事項

#### (1) 北摂地区大会について

・9月23日に受堅不可能な方のフォローをどうするか。

7月の司祭の集会の折、地区長から大司教の意見を伺う。

各小教区では、8月末を目途に受堅者、代親の再確認を行ない、花木氏に報告する。

・大司教の昼食については、地区長から大司教のご希望を伺う。

#### (2)信徒養成講座について

・養成チームを作るという方向で、種々の意見・提案がなされた。

前回の養成講座は、資料も多く消化不良になっている。いきなり養成チームを作るのは無理があり、一度フィードバックして勉強会を行なう必要がある。その中から意欲のある人、適任者に養成チームのメンバーになって頂いたらどうか。

教区は『みんなで担う信徒奉仕職』(ピンクの本)を使って分かち合い形式での養成コースを考えているようだが、日本人には分かち合い形式は合わないのではないか。

今大切なことは、テキストを作り教える 受けるという基本的な形が必要であり、講座形式がよい。

養成チームについては、司祭の集会で話し合う必要がある。

前回の講座形式の勉強は、神父様方が連携され、大変有効であった。小教区においても、 子どもの教育を担う大人の養成が急務であり、教会の将来に危機感を覚える。小教区の信 徒全体のレベルアップの養成と奉仕職の養成は分けて考えたほうが良い。

前回養成講座を受けた40名の方々との交流会を持ってはどうか。

... 等々 沢山の意見、提案があった。

・今後も意見を聞きながら、継続的に話し合うこととする。

#### (3) その他(お知らせ)

・茨木教会: チャリティコンサート 9月6日(日)13:00~ 礼拝会主催

・千里NT教会: 講演会 8月30日(日) 10:45~

講師…岡田圭司医師(高槻赤十字病院緩和ケア部長)

・茨木教会 5 0 周年: 10 月 18 日

・豊中教会70周年: 内輪で行なう

・次回、第66回北摂地区宣教評議会開催予定 9月13日(日)午後2時~4時 箕面教会にて。

終りの祈り 松本神父

以上

## からしだね7月号 訂正とお詫び

6ページ 信徒総会議事録(暫定) 日曜学校の項

(誤)2年生:磯野(恭)・桜庭 (正)2年生(初聖体クラス):磯野(恭)・桜尾・門

9ページ 信徒異動

(誤)岡田英明さん (正)岡田英昭さん

以上訂正して、お詫び申し上げます

## サンチャゴ巡礼日記

池田市 地区 山内 敬子

2009年6月14日、この日から徒歩巡礼開始です。目的地は19.6キロ先のLAS-HERRERIAS。朝7時に集合して朝食。8時にビジャフランカ・デル・ビエルソのホテルを出発しました。行き会う人たちは皆、ブェン・カミーノと挨拶しあいます。"良い旅を"という意味です。





20キロ近い距離ではありますが、4キロごとに休憩を入れるので、それほどきつくありません。

ョ(固いパンのサン

昼食は宿の二つ前の村のMeson(居酒屋)にて、ボカディージョ(固いパンのサンドイッチ)を食べました。こちらの食事はとにかく何でも大きい!量が多い!!ボカディージョも私の顔より大きい、豪快な料理でした。でも、中に挟んである生八ムがとってもおいしいんです。たくさん歩いて汗をかいた体にはこの生八ムの塩気が本当にうれしい。日本では生八ムというと、サラダやメロンに乗せて、ちょっとおしゃれな食べものといった感じですが、スペインではもっと気軽に日常食として食べられています。

塩気といえば、ガイドの佐々木さんが、徒歩巡礼は塩分補給が大切だからと、炒ったごまと岩塩をすりつぶした手作りのごま塩を、休憩のたびに私たちになめさせてくれました。忘れられない巡礼の味のひとつです。

巡礼の道では、たくさんの野の花に出会います。日本で見かける植物もちらほら。でもそこはスペイン。皆少しずつ日本のものと違い、外国人の顔をしています。真っ赤なケシはな色のリンドウ、ピンクの濃いカラスノエンドウ、ふたまわりほど大きいオオイヌフグリ、茎が長くて細いタンポポ。スペインで見かける植物は、全体的に日本のものよりは大きく、花の色も濃い印象です。白い花が可憐な野いちご、クローバー、れんげ草は、日本でもおなじみの顔で道端に咲いています。桜の木には、小さな小さなさくらんぼが実り、





15時半、LAS-HERRIASの宿に到着。シャワーを浴びてから、SNJで購入したテレフォンカードで日本に電話してみました。これが、ホテルに備え付けられている公衆電話ではなかなかつながらない!何度も何度もかけ直し、スペイン語に堪能な巡礼仲間の女性と佐々木さんに手伝ってもらって、やっとつながりました。テレフォンカードさえ購入すれば通話料無料の電話番号が使えるため、使う人が多く、回線が込み合っていたようです。なかなかつながらなかった電話ですが、相手の声ははっきりと聞こえ、受話器の向こうの家族の明るい様子にほっとし、急に肩の力が抜けたように感じました。

この日泊まった宿はすてきな所で、宿の入り口には、つるばらが満開に咲き、目の前には放牧場が広がっていて、牛がのんびり草をはんでいます。その向こう側には白樺の林沿いに小川がゆるやかに流れています。夕食もとっても豪華。カルド・ガジェーゴ(ガリシア風野菜スープ)に続いて、赤ワインを飲みながら、子羊のステーキをゆっくり食

べ、最後はアロス・コン・レーチェというお米とミルクの冷たいデザートで締め。景色の良い半テラス席で、窓の向こうには牧草地が見渡せ、贅沢なひとときでした。

さあ、今日は高低差もそれほどなく、半分ほどはアスファルトで舗装されていましたが、明日からは森の中を標高1300メートルまで歩きます。日記を書いて、その日は早めにベッドに入りました。



(第3回へつづく)

## 信徒異動

結婚しました!

かどかわ

島上慎三郎さん、楞川恵子さん (8月29日挙式)

ご冥福をお祈りします ヨハネ・ボスコ 中村俊之さん (7月21日帰天 62歳)

よろしくお願いします マリア・ベルナデッタ 宇山順子さん 千里ニュータウン教会より その他地区(豊中市)へ (V-2-18)

引越ししました

西内宏昭さん・みつるさん・まどかさん・えりかさん

宝塚市雲雀丘 から 宝塚市御殿山へ 宝塚市地区(IV-4-15)

## 宗像の黙想の家への旅

川西市地区 仲 恒子

以前からの憧れの宗像の黙想の家へ、今回、典礼委員会の研修旅行に誘ってもらい、喜んで参加させていただきました。7月25日、前日来の豪雨で、飛行機が飛ばないのではと心配しました。幸い、当日は時間通りに飛び、滑走路脇の芝生が池状態の福岡空港にドスンと到着。地下鉄・JR・タクシーと乗り継ぎ、予定より早く到着。

黙想の家は、住宅街を曲がってふっと入ると森の中。緑に囲まれた素晴しい建物があり、染野神父様が笑顔で迎えてくださいました。森の中には、十字架の道行・ルルド・ラファエルの水(湧き水)・池・畑・移築中のザビエル旧聖堂があります。

ちょうど大名町教会の英語ミサから帰られたガブリエル 神父様にばったり。池田の信者さんの話で盛り上がりま した。また、さっそうと軽トラックから降りられた内山 神父様にもお会いし、もう大喜び。まるで池田教会がこ こにもある、そんな感じでした。

昼食をいただいた後、染野神父様の講話を聞きました。





昨年の列福者の一人、原主水の生涯(名門に生まれ、一度没落した後、取り立てられ出世、若さからのおごりで罪を犯し、社会の最底辺で暮し、額に十字架の烙印を受け、最後は燃える炎を抱きかかえるようにして神の元へ召された)を通して、神の救いとは?復活とは?について話され、私たちは福者の生き方を語り続け、伝えていくことが勤めではないかと語られました。



その後、十字架の道行きを。鬱蒼と茂る森の中を男性3人が杖でクモの巣をはらいながら、各留を順に朗読し、黙想。

休憩のあと、宗像大社へのドライブに連れて行って もらいました。印象的だったのは神父様の講話で聞 いた宗像大社の高宮です。そこは建物も飾りもない 祭壇で、昔の人達が神へ祈りを捧げたであろうシン プルで静かな場所は、何時の時代にも変わらない神 との対話の場であったのでしょう。

神と静かに向かい合う祈りのあり方は、ユダヤの人達が荒れ野で神に出会ったことにも通じるのでしょうか。

夕方のお祈りと食事、歓談で1日目を終え、満足した一行が眠りに着く頃、再び激しい 雷雨が降り出し、朝まで続きました。

2日目は、ガブリエル神父様もご一緒のミサに与り、出発。前夜の雨の影響でJRが止まってしまい、赤間駅で1時間ほど足止め。バスに乗り換え、天神まで着いてみると、博 多市内の大橋が冠水しそうで豪雨の影響は予想以上でした。

急いで地下鉄に乗り換え、染野神父様ご推薦のラーメン屋さんへ。安くて美味しい博多 ラーメンで大満足!大急ぎで食べて、やっと動きだしたJRで南福岡駅へ。

タクシーで福音の光修道会を訪ねました。シスター方がとても喜んでくださり、池田に 居られた頃の思い出など話が弾みましたが、帰りの飛行機の都合もあり、残念ながら短 時間でお別れしました。

こうして豪雨のなか、一度も傘をさすこともなく、1時間遅れの飛行機で無事伊丹空港へ到着しました。

楽しい、且つ考える旅を終え、またいつか静かな黙想の家で、忙しい日常を離れて、なかなか読めない本を抱え1週間くらい滞在し、ゆっくり神様との対話や祈りの時を過ごしたり、のんびりしたりすれば、どんなに良いだろうと思いました。皆さんも気分転換・短期の家出(!)等



にお出かけには、是非!宗像の黙想の家をお勧めします。

この旅を与えてくださった神に感謝! そして、染野神父様と典礼委員会に感謝!



## ドレミの会バーベキュー(8月8日)

毎年恒例の~ドレミの会バーベキューキャンプ~が行われました。 お天気も上々、みんな山の空気を吸いながら、おいしいお肉に舌鼓! 畠神父様も参加していただき、大喜び! スイカわりなど~楽しい一日を過ごしました!!

















## 日曜学校夏季キャンプ(7月28日~30日) 於 猪名川キャンプ場・日生中央教会

天気にも恵まれ事故もなく、手作りのおいしいピザをいただき、 川遊びもできて楽しい時を過ごすことができて感謝です。

28日























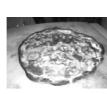
29日













30日 日生中央教会









## 中高生会ワークキャンプ(8月11日~13日) 於 奈良 レーベンスシューレ

まずまずの天候でした。毎日がんばって働きました。 バーベキューがとってもおいしかったです。 満天の星空…流れ星もたくさん見ました。



































## 2009「メンズクラブ・信州憩いの旅」顛末記

池田市 地区 清水 俊喜

ひと月遅れの8月22日~23日、恒例のメンズクラブ「信州憩いの旅」が実施されました。22日出発前に「すまん、スマン。参加したかったんやけど、どうしても今回アカンネン!」と差し入れのビールを届けてくださった林議長さん。「ゴメンね、ゆけなくなって~」と謝罪に見えた高田のおばちゃん。おじいちゃんを心配顔で送ってこられた高橋(圭)さん達の見送りを受け、バスは定刻前に一路「信州憩いの旅」に向け池田市役所前を離れました。

すこし走ったところでバス車中を見渡すと「まぁ~なんということでしょう!」今年のメンバーはキレイどころがいっぱい。とても華やいだ雰囲気。昨年はじめて「妙齢のご婦人!」方とともに旅させてもらったことから、今年はその倍以上のお顔が…。嬉しぃ~ですね。"ようお越し、またお越し、いわおこし!"さて、高速に入る手前で「みなさん、旅路のお祈りをしましょう」と神父さまの声。「エッ~」とつんのめりながら、あわてて座り直し、みんなで旅の安全を願いお祈りをしました…とさ。(影の声=過去車中で「旅路の祈り」あったかいナァ・。これからの道中、お祈りづくし?う~ん!楽しみ)お祈り後、早々に「お~いビール、ビール!」の声。なんという不届きもの…喝!でも、あの席、この席で笑い声、話し声。この2日間、おおいに楽しんでいただければと願いました。

名神は、1,000円効果か少し渋滞。だが、予想よりも早く小牧に到着。厳粛なる?食前のお祈りの後、お昼にとても美味なる「名古屋コーチン」をいただきました。昼食後、またもやビールを口に、泡ふいてる間に『歴史のおもかげを残す宿場町 - 妻籠宿』に到着。ガイドさんより「篤姫」のワンシーンに"皇女和宮"さんが3万の行列を従え江戸に上られたのがこの道です。」と説明あり。そうなのかと思いを馳せ、周りをキョロキョロ。「妻籠宿の端っこに、ワラで造られた馬があるよ」との藤阪情報を元に8名ほどで見聞に脚を延ばす。なるほど、立派?なキタナイ「ワラ馬」がありました。記念撮影した後は、馬のことなどどこ吹く風!「栗キントン」を求めお店にナダレ込み「おばちゃん、もうちょっとまけて~や?」。マコト大阪人は達者でんなー。暑さからか神父さん・谷掛さん・河野さんはソフトクリームを頬張りながら、そよ風に揺れる稲穂道をゆっくり散策。(影=絵から抜けでたよう。妻籠に馴染んでますナー。でもちょっとホメすぎ)

妻籠宿のつぎは「木地師の里」へ。お店の大将の説明を受けた後、その口車にまんまとのせられて「お箸」や「お椀」をもとめ右に、左に。「これ買って帰ったら、また嫁はんに口利いてもらわれへんナァー」と、いいながらもせっせと買い込むM氏。(影=怒られることに喜びが!)お店へのご奉仕のあと、宿泊地の昼神温泉「ユルイの宿・恵山」に。着後部屋割りがあり、男性は4名、ご婦人は5名1室。神父さんのみ1名の隔離?。夕食時までに温泉に入り、さっぱりと。【温泉の効用=つるつるのお湯で肌がスベスベに。美男美女になれる、とのこと】(影=いまさらつるつる温泉に入ってもネェ~)ふん、ほっといて! 6時30分夕食会場に。会場に入るや否や「Wo~w!」。





宴会場にはプロジエクターが設けられスクリーンには「食前の祈り」の文字が浮かんでいるではあ~りませんか?それを眼にしたとき、もう「めまい」です。ホテルの係りの方に見守られながら食前のお祈り。終わってやっといただけると思いきや「ついでに寝る前のお祈りも先にしておきましょう」の、うれし涙がでる一言。ご馳走を目の前に「寝る前の祈り」がつづき、小生、ロン



グなお祈りのため脚がシビレ、胡坐に座りなおすほど。ウ~ン、まいった。(影 = みそ汁、さめるやおまへんか)サァ~「いただきましょう」で、みなさんはじけるように箸を動かしておられました。

食後は宴会部長、松下さんの呼びかけにより有志で「カラオケ」に。集う16名が順次「美声?」を披露。デュエットあり、唄にあわせて松下夫人の即興舞踊あり、林夫人のユカタのすそを乱しての「どうにもとまらない」ダンスあり(影=子や孫が見たら泣くで…)、藤阪氏によるM氏の形態マネあり、辻さんの若々しい透き通った声に酔いしれ「輝子・テルコ」の大コール。樋口さん・河野さん・青池さん・市岡さんもガンバリました。みんなの輪に入りマイクを手にオハコを熱唱。大喝采にウエーブが起こる。時間超過も忘れ「じじ・ばばの乱れ咲き」。(影=この姿、神父さまには見せられん!)そのはじけた姿、普段は絶対眼にすることのできない可憐?さ。おそらく瞬間指数20歳は若返っておられたのでは…?カラオケ効果覿面。元気をもらって最後はみんなで「青い山脈」を合唱。旅の1日目を締めました。

2日目(23日・日曜日)、ほとんどの方が5時すぎに起床。朝食までに朝市に、と出かけられた藤原さん。「外、寒いゾー」と戻られる。午前5時の長野下伊那は山の中腹だけに夏といえどもTシャツではガマンできない寒さ。「では、私は朝風呂に…」と塚本さん。みなさん自由時間を満喫されいる様子。朝食は8時から。個々の「食前のお祈り」がゆるされ、席についた者からいただきました。10時の「ミサ」に間に合うよう、ホテル前集合のサインが出たときに、やはり出ました。「時計があらへん」と騒いでいるIさん。「ボケるにはまだ早いちゃうん」と言われながら捜すも見当たらず。あきらめバスにのり込み「飯田教会に!」。途中「ありました」と響き渡る大声。(影=もうエエカゲンにしなさい!チャン・チャン)

「カトリック飯田教会」は、横浜教区に属し、フランシスコ会に委託された教会だそうで、昭和26年、日本式家屋を仮聖堂としてスタートされました。年度は違えども、この辺りは池田教会とよく似ています。現主任司祭は「伊藤 隆神父さん」で7代目。教会内に住んでおられず、少し離れたところに居をかまえ、農業にも携わっておられる

「お百姓さん神父」だそうです。予備知識を藤阪氏より 得て、いざ飯田教会へ。着後、代表の方々の歓迎を受け、一緒に新たな気持ちで「ミサ」に参加。我々が訪問







したためか、多くの信徒さんが聖堂の後ろに立ち見で与っておられ、さぞ「なにごと!」と驚かれたのでは。 ミサは、伊藤神父さま・畠神父さまによって日本語とフィリッピン・タガログ語の二ヶ国語ですすめられました。ミサ後、広場で「親睦交流会」が催され、沢山の手づくり料理に飲み物で歓待され歓談に華がさきました。フイリッピン出身の方も多く「これフイリッピンのぼたもちネ。おいしいよ!食べるね」と「ビゴ」なるものを



口まで運んでくれる。甘いものが苦手な小生だが好意だからと「ガブリ!」。(う~ん甘~)少し大阪の港区にいたというオバナさんが「モウカリマッカー」と声を掛けてきた。「アキマヘンナ」と返答。「元気でオマスカ」と大阪弁。好んで大阪弁を使ってくるので、「ワシャもう~怒るでェー」、「ナニいうとんじゃー」と《やっさん調》で正しい大阪弁を身振り手振りで伝授。笑いころげて「もう、ナイカ!」と催促。いくつか教えたあと「オオキニ、ね」と礼を述べられる。おおいに交流?がはかれた!。みんなで記念撮影。一人ひとりと握手をして飯田教会を後にする際、とても多くの土産をいただく。そのご好意に、バス中より飯田教会に振り向いて「本当にありがとうございました」と自然と頭がさがりました。

サァー、次の訪問地は「元善光寺」さん。「法話が聞ける」と言うことだったので楽しみの一つにしていた訪問地。だが、修行僧(または職員?)の仁田和雄氏の話を真剣に聞いていると「ちよっとそれが法話…?」と疑問に感じ「それって商品PRとちゃうん!」と心中で突っ込む。面白く話しされていたが、心にはまったく響かず、期待に裏切られガックリ。サーッと拝観しバスに。1時前に野沢菜センター着。当地で昼食タイムなのだが、飯田教会で食してから、さほど時間が経っていないないので多くが「食べられないヨー」といいつつ席につく。名物「信州そば&うどん」に混ぜご飯に天ぷら。並べられた食卓にお箸をのばし数分後、「そばのお替り!」の声。誰や「もう入らん…」と言ってた方は!食後のお祈りもそこそこに、これまたお目当ての「野沢京」のお店に。試食品をツマミ食いしながら「ああだ、こうだ…」とブツブツ。ご婦人の目は真剣そのもの。「会社へはで、家にはこれかな!」と金岡氏の独り言。「この辛は、こっちと比べると辛すぎない…」と説明を求めておられる高橋さん。「今回はこれだけ。もう終わり!」と袋を片手に古宮さん。買い物は男も真剣なのだ。「この茗荷、おいしんですよ」と青池さんにすすめられるも下手に買って怒られるのがイヤさに控える小心者の小生。(影=M氏のこと言えんゾー)

以上で全行程終了。1時35分、さあー帰路に。バス中の宴会もそこそこにあちこちでスヤスヤ。神父さまと山名さんの白熱した論議に眼をさまされ、時間をみればあと1時間半ほどで池田。「あとわずかだから、もう1缶!」と喉をならす大槻氏。いよいよ池田に近くなったところで「感謝の祈り」。所どころでゆっくり走行はあったものの予定より早い5時45分、無事23名、池田市役所前にご帰還。お祈りあり、飲み食いあり、熱唱ありの「実に教会らしい?」一泊二日でした。畠神父さま、ありがとうございまし



た。ご一緒させていただきましたみなさん、本当にありがとうございました。今回参加できなかったみなさん、次回はぜひご一緒に旅しましょう。

『終わり良ければ、すべて良し!』 神に感謝!

(写真:河原 巌)

校庭の白線秋のはじめかな

水香はちぬいこもりて山は秋



くなべせの雨粒状ではじめかけ 新湯やベジーカーよりれる足

寶子

幾度も旅程しみかえ夜の秋 からしだね 村女 徘 塘

柳尾草 影もろともに吹かれるり

多子

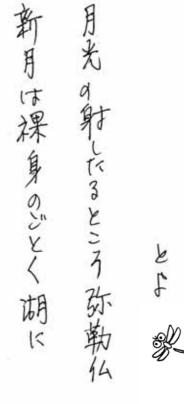
YE JE OF THE

期於

の小经

去とんば見めのごととどまりて 村美歌を弾く指先の歌はじめ

露草の色海の中へあいずく 里より遠ざかる 真美子 純枝





九月号

## お久しぶりです!!

9月6日、久しぶりに池田をお訪ねくださった御受難会の國井神父様が、第23主日の ミサを司式してくださいました。

お元気なお姿でした。また、来てくださいね。





## バザーの品物を募集します!!

10月18日のバザーで開催する「リサイクル市」と「のみの市」で販売する品物を 募集しています。

リサイクル 古着(秋冬物の洋服洗濯ずみの物)

靴・バッグ・アクセサリーなど

電化製品を除く、新古品 のみの市

(社会活動委員会)

## 編集後記

・9月2日の早朝、人工衛星(宇宙ステーション)を見ました。夜明け前の空は星がき れいに見え、その中を人工衛生は4:50am北北西に現れ、4:55amに東南東に消えていき ました。星の光より大きく、情報どおりに正確に飛んで行く様子は美しく感動もので した。

運動会・遠足・バザー・堅信式と、予定はいっぱい。新型 秋です。さわやかな秋! インフルエンザにも負けず、元気に過ごしたいものですね。 (funebar)